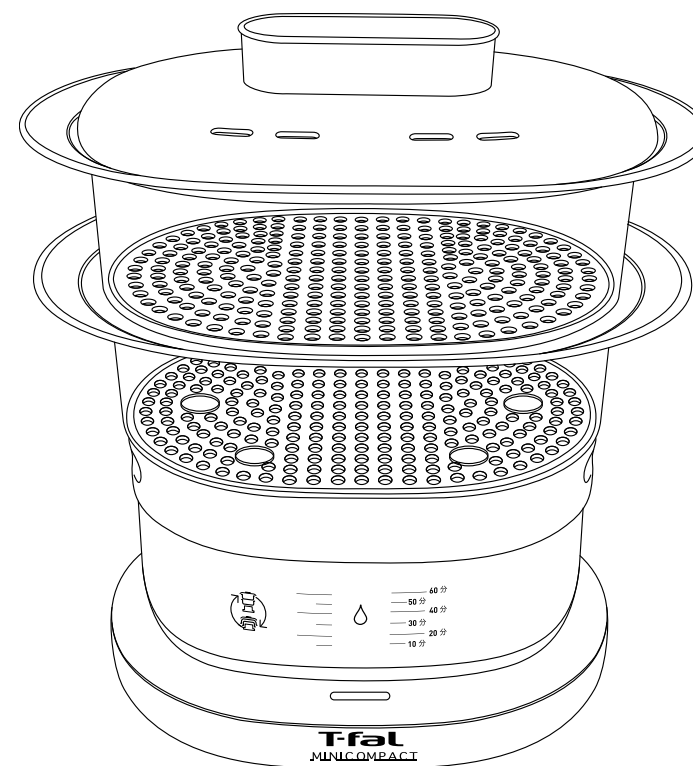


MINICOMPACT


ミニコンパクト








- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意



ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。




必ずお守りください

-  定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
●延長コードも定格15Aのものを単独でお使いください。

-  異常時（こげ臭い、発煙など）は、直ちにプラグを抜き、使用を停止してください。
●ショートや発火する恐れがありますので、弊社お客様相談センターまでご相談ください。
-  めれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。
●感電の原因になります。




お取り扱い

-  修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改善は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。●修理は弊社お客様相談センターにご相談ください。
-  水タンクを水に浸さないでください。ショート・感電のおそれがあります。
子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使わないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。
- 水タンクには、満水ライン以上の水を入れないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。
- 直火（ガス台など）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せないでください。火災の原因になります。

電源・コード




-  電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
●プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。
●傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わないでください。

-  コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷付いたり、加工したり、熱機具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
●コード・プラグの修理は、弊社お客様相談センターにご相談ください。

絵表示の例

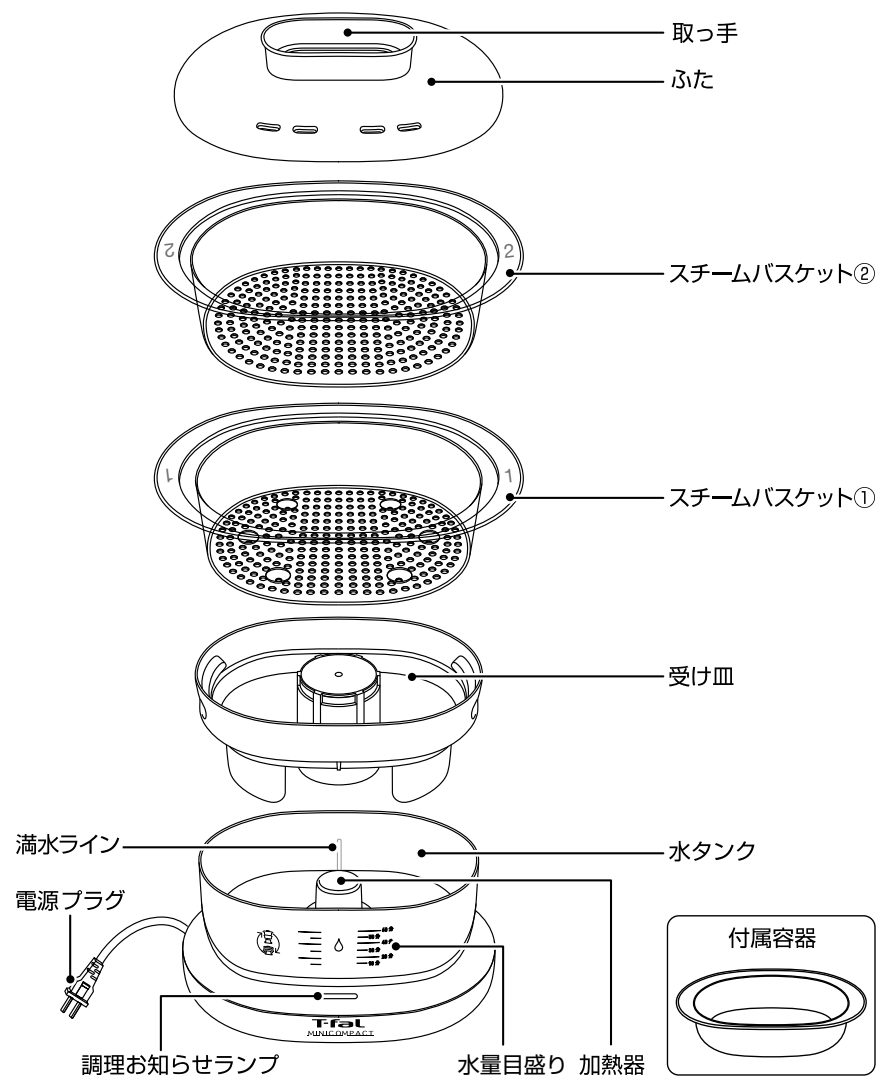
-  記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が表記されています。
-  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が表記されています。

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容です。

お取り扱い

-  不安定な場所や熱に弱い敷物の上やカーテン等可燃物の近くで使わないでください。火災の原因になります。
●じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上で使わないでください。
ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わないでください。本体のプラスチック部分が熱で損傷することがあります。
壁や家具の近くで使わないでください。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。
コンセントに電源プラグを差し込んでいるときは、コードをひっかけないよう気をつけてください。本体が落下し、やけど、けがをすることがあります。
調理中はスチームクッカーのそばを離れないようにしてください。
使用中はふたの蒸気穴から熱い蒸気が出ます。蒸気に触れないでください。やけどの原因になります。
使用中や使用後しばらくはふたやスチームバスケットが熱くなります。
●直接ふたやスチームバスケットに触れないでください。やけどの原因になります。
●触れるときは、鍋つかみを使用してください
調理中はスチームクッカーを移動したり、持ち運ばないでください。やけどの原因になります。
長時間使用すると、受け皿が蒸し汁でいっぱいになることがあります。スチームクッカーを移動するときは、蒸し汁をこぼさないよう十分気をつけてください。
調理後は本体が熱くなっているので、十分に冷めるのを待ってから移動してください。
水タンクに水が入っていないときは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因になります。
●水タンクに水が入っていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
水タンクには、液体調味料等、水以外のものは入れないでください。故障や汚れの原因になります。
お手入れは各部分が十分に冷えてから行ってください。熱いうちに高温部に触れると、やけどの原因になります。
●特に水タンク中央の加熱器は非常に高温になりますので、十分に冷えるのを待ってお手入れをしてください。
本製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使われたり、業務用としてお使いになるのはおやめください。
-  使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
-  電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

各部の名称



ご注意

本製品には、電源スイッチはついていません。電源プラグの抜き差しで電源のON/OFFを切り替えます。

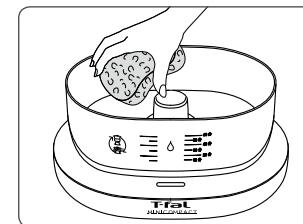
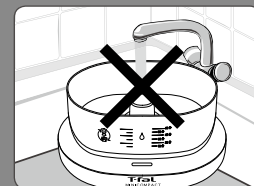
ご使用前に

初めてお使いになるときは

取りはずしができるすべての部品を温水と洗剤で洗浄します。
よくすすいで、乾燥させます。
水タンク内は湿らせた布で拭きます。

ご注意

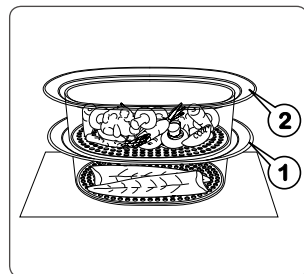
水タンクを水に浸して
洗浄しないでください。



調理の準備をする

素材をスチームバスケットに入れる

- 1 スチームバスケットの中に素材を入れます。
 - 2 スチームバスケットを2段で使用する場合は、スチームバスケット①の上に②を載せます。
- ※ スチームバスケットの両脇には、それぞれ番号が刻印されています。



水タンクに水を入れる

- 1 水タンクを安定した平らなところに設置します。

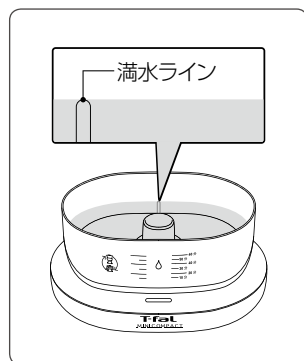
ご注意

蒸気で損傷を受ける恐れのあるものから離れた場所に設置してください。

- 2 水タンクの見盛りにあわせて、水を入れます。水の量は、調理時間によって異なります。調理時間と水の量の目安は、P.11-12の「調理時間表」を参照してください。

ご注意

- ・水タンクに水を入れずに通電しないでください。故障の原因になります。
- ・水は毎回新しい水を入れてください。
- ・水タンクには、液体調味料等、水以外のものを入れないでください。
- ・水タンクには、満水ライン以上の水を入れしないでください。



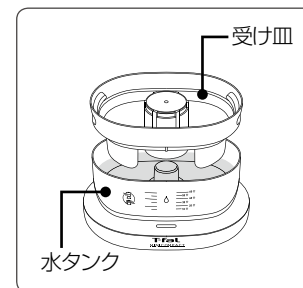
調理の準備をする

スチームバスケットをセットする

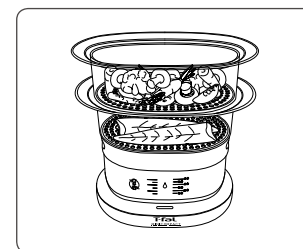
- 1 受け皿を水タンクの上に乗せて固定します。

ご注意

水は受け皿ではなく、水タンクに入れてください。

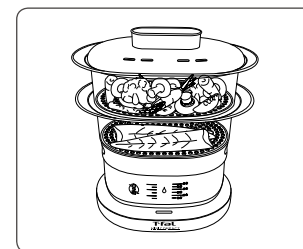


- 2 素材を入れたスチームバスケットを受け皿の上に乗せて固定します。



- 3 ふたをします。

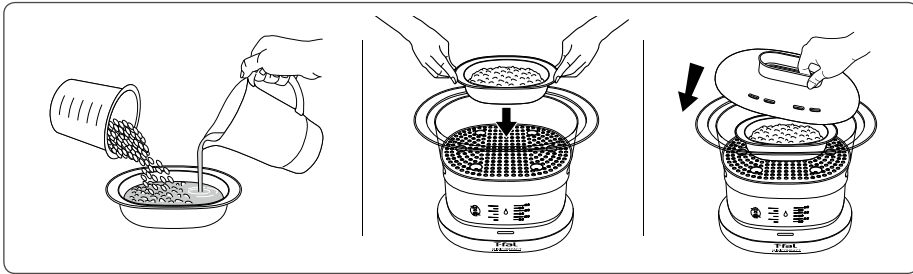
* ふたは、バスケット①、②どちらにも使用できます。



調理する

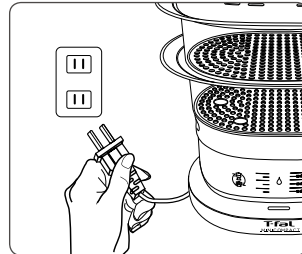
付属容器を使う場合

- ・付属容器は、ご飯を炊いたり、温めなおしをするときに使用します。
- ・例えば、ご飯を炊くときは、米と水を付属容器に入れスチームバスケットに置き、ふたをします。
- ・温めなおしの際は、素材を付属容器に入れ、ラップをかけて、スチームバスケットに置き、ふたをします。



電源プラグを入れて、調理を開始する

- 1 電源プラグをコンセントに接続します。
- 2 調理お知らせランプが点灯し、調理が始まります。



お知らせ ・ スチームクッカーは、中の温度を一定に保つため加熱をしたり、止めたりします。加熱が止まる際は調理お知らせランプが消えますが、これは故障ではありません。

・ 水が少なくなると、蒸気が出なくなり、アラームが鳴って調理を続けることができなくなります。アラームは、水タンク内に冷たい水を入れるか、電源プラグをコンセントから抜かないと止まりません。

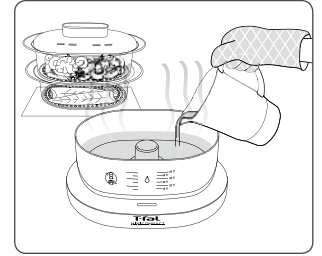
調理する

調理中は

水量目盛りを見ながら水量を確認し、必要に応じて、水を加えます。水が少なくなると、蒸気が出なくなり、アラームが鳴って調理を続けることができなくなります。

水を加えるときは、必ず鍋つかみを使用してください。スチームバスケットと受け皿を水タンクからはずし、適量の水を加えます。受け皿をはずす際は、熱い湯滴が落ちることがありますので、やけどにご注意ください。

水を入れたら、スチームバスケットと受け皿を戻し、調理を再開します。

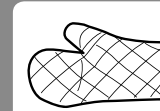


ご注意

調理中は、スチームクッカーのそばを離れないでください。

ご注意

バスケットやふたに触れるときは、鍋つかみを使用してください。特にふたを開ける際は大量の蒸気が出るので、やけどにご注意ください。



調理する

調理を終了する

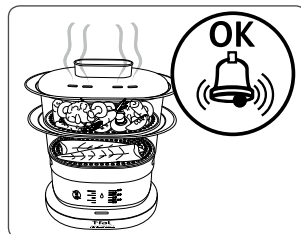
水が少なくなるとアラームが鳴り、調理お知らせランプが消えますので、電源プラグをコンセントから抜きます。

注意

アラームは、水タンク内に冷たい水を入れるか、電源プラグをコンセントから抜かないと止まりません。

注意

本製品には、電源スイッチはついていません。
電源プラグの抜き差しで電源のON / OFFを切り替えます。



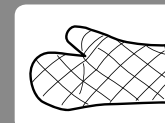
調理する

スチームバスケットから素材を取り出す

ふたをとり、スチームバスケットから、調理した素材を取り出します。

注意

バスケットやふたに触れるときは、鍋つかみを使用してください。
特にふたを開ける際は大量の蒸気が出るので、やけどにご注意ください。



調理時間表

蒸しあがりに近づいたら、素材の状態を確認してください。

調理時間はあくまでも目安です。お好みに合わせて調理時間を調整してください。

野菜

素材	分量	蒸し時間	調理のコツ
 アスパラガス	7本 (180g)	約 10分	根元を切り落とす。
 いんげん	200g	約 10分	
 枝豆	1袋 (250g)	約 10分	
 かぼちゃ	1/4個 (400g)	約 20～25分	ひと口大に切る。
 カリフラワー	1個 (360g)	約 10～15分	小房に分ける。
 キャベツ	1/3個 (400g)	約 10分	ひと口大に切る。
 さつまいも	2本 (500g)	約 40～50分	
 じゃがいも	4個 (600g)	約 40～50分	
 大根	1/3個 (400g)	約 20～25分	乱切り。
 玉ねぎ	小さめ 1個 (150g)	約 20～25分	
 とうもろこし	2本 (540g)	約 20～25分	
 長ねぎ	1本 (120g)	約 10分	斜め切り。
 なす	3本 (250g)	約 15～20分	

調理時間表

野菜

素材	分量	蒸し時間	調理のコツ
 にんじん	2本 (300g)	約 10～15分	厚さ 3mm の輪切り。
 白菜	1/4個 (400g)	約 20～25分	
 ブロccoli	5～6房 (350g)	約 10分	小房に分ける。
 れんこん	中 1個 (150g)	約 15分	1cm にスライス。
 もやし	1袋 (250g)	約 10分	

米

素材	分量	調理時間	調理のコツ
 精米	1合	約 30分	付属容器に同量の水を入れて調理

その他の素材

素材	分量	調理時間	調理のコツ
 卵	2個	約 10分 (半熟) 約 15分 (固め)	冷蔵庫から出してすぐの卵は 2～3分調理時間を追加して調理

水の量の目安

蒸し時間	約 10分	約 20分	約 30分	約 40分	約 50分	約 60分
水量	230ml	360ml	490ml	620ml	750ml	880ml

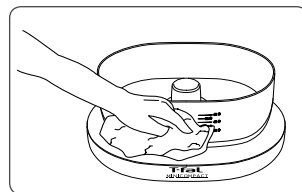
蒸し時間と水量は、あくまでも目安です。

後かたづけをする

- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 完全に冷ましてからお手入れします。

お手入れ

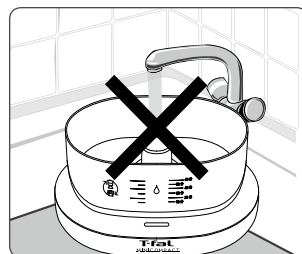
- 1 水タンクは空にし、湿らせた布で拭きます。



ご注意

水タンクを水に浸さないでください。

- 2 他の取りはずしできる部品は、すべて洗えます。また食器洗浄器も使えます。



ご注意

にんじんなど、色の濃い素材の汁で受け皿や水タンクに染みがつくことがあります。異常ではなく、調理に影響はありません。染み付きをできるだけ防ぐためには、毎回使用後すみやかに受け皿と水タンクのお手入れをしてください。

ご注意

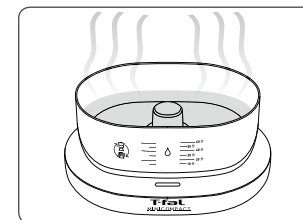
研磨剤入りの洗浄用品、スチールたわしを使用しないでください。

お手入れ

水あかを落とす

水あかがたまってきたら、水あかを落としてください。

- 1 水タンクに水950ml（満水ラインまで）の水を入れ、クエン酸（15g程度）を入れて、かき混ぜます。
- 2 （受け皿を置かず）電源プラグをコンセントに差し込み、加熱します。
- 3 5分後、コンセントから電源プラグを抜き、その後、約1時間放置します。
- 4 お湯を捨て、汚れが残っている場合は拭き取って、水で十分にすすぎます。

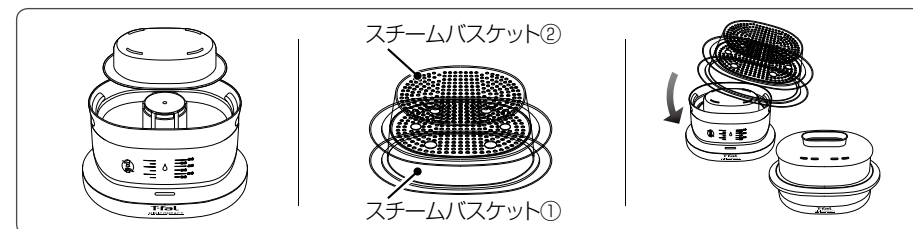


ご注意

加熱器が熱い場合がありますので、やけどにご注意ください。

スチームバスケットの収納

- 1 付属容器を逆さにして受け皿にかぶせます。
- 2 図のように、スチームバスケット①を逆さにし、その上にスチームバスケット②を重ねます。
- 3 重ねたスチームバスケットを上にかぶせます。
- 4 一番上にふたを載せます。



Q & A

Q (質問・疑問)	A (答え)
蒸気が出てこないのですが…?	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。 ・水タンクに水が十分に入っているか確認してください。受け皿のほうには水を入れないでください。 ・加熱器に水あかがたまっていないか確認してください。水あかがたまっている場合は、14ページの「水あかを落とす」を参考にしてお手入れをしてください。
素材の中まで熱が通らないのですが…?	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットに素材を入れすぎているか確認してください。 ・バスケット内の素材が重なりあっていないか確認してください。
バスケットがきちんと固定されないのですが…?	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケット①と②を重ねる順序が逆になっていないか確認してください。バスケット①の上にバスケット②を重ねます。
加熱器が変色し、表面がペラペラとはがれるのですが…?	<ul style="list-style-type: none"> ・水あかが付着したことによるものです。14ページの「水あかを落とす」を参考にしてお手入れをしてください。
バスケットに直接食材をのせられますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・はい、のせられます。
付属容器以外の器をバスケットに入れても大丈夫ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・耐熱性のある器であれば、バスケットに入れてご使用いただけます。
アラーム音が止まらないのですが…?	<ul style="list-style-type: none"> ・水タンクに冷たい水を入れるか、電源プラグをコンセントから抜かないと、アラーム音は止まりません。
電源はどこで ON / OFF しますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチはついていません。電源プラグの抜き差しで ON / OFF を切り替えます。

製品仕様

ティファール ミニコンパクト	
定格電力：100V	重量 (全体)：約 1.3 kg
定格消費電力：650W	サイズ (幅×奥行×高さ)：約 29 cm×20.5 cm×32 cm
タンク容量：950ml	

※仕様・デザイン・価格等は変更になることがありますのでご了承ください。

Made in China

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
 修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2500

お客様
相談センター

 **0570-077772**
ティファール® 受付時間：月～金 10:00～17:00(土・日・祝日を除く)

部品注文
センター

 **0570-086072**
ティファール® 受付時間：月～金 10:00～16:00(土・日・祝日を除く)

※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
 ※商品により部品としての取り扱いのないものがございます。